

新時代に対応した高等学校改革推進事業 (普通科改革支援事業)



「み」んなが
「さ」いこうに
「き」らきら輝ける
学校づくりを目指して



愛媛県立三崎高等学校

み さ こ う
「三崎高校」 とは？



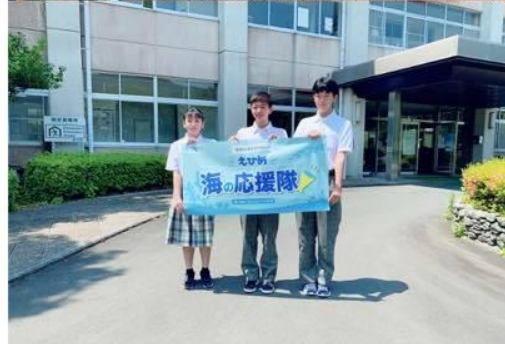
- 「佐田岬半島」にある**四国最西端、伊方町唯一の高校**
 - **全校生徒の半数以上が寄宿舎生**
 - 地域との協働活動を**8年前**から実施
 - **探究活動**を取り入れた授業
- My課題×学校×地域**



みさこ 三崎高校



せんたんプロジェクト



ブイアートプロジェクト



「ふるさとの海の
美しさを守りたい」



県内外のイベント、
シンポジウムで
啓発活動



えひめ愛顔の子ども
芸術祭 県知事賞



地域のNPOと協働

みさこうCafe



「ふるさとの海の
美しさをPRしたい」



海水から塩を精製



校内外の団体と
コラボした商品開発



地元レストラン、
日本財団と協働

ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル



「町の新たな特産品
を作りたい」



校庭のだいたい



レシピ開発



第3回大会
金賞・
ベストカテゴリー賞

みさこう応援団・みさこう郷土芸能



「ふるさとを元気にしたい」
「ふるさとの伝統文化を
守りたい」



有志での活動



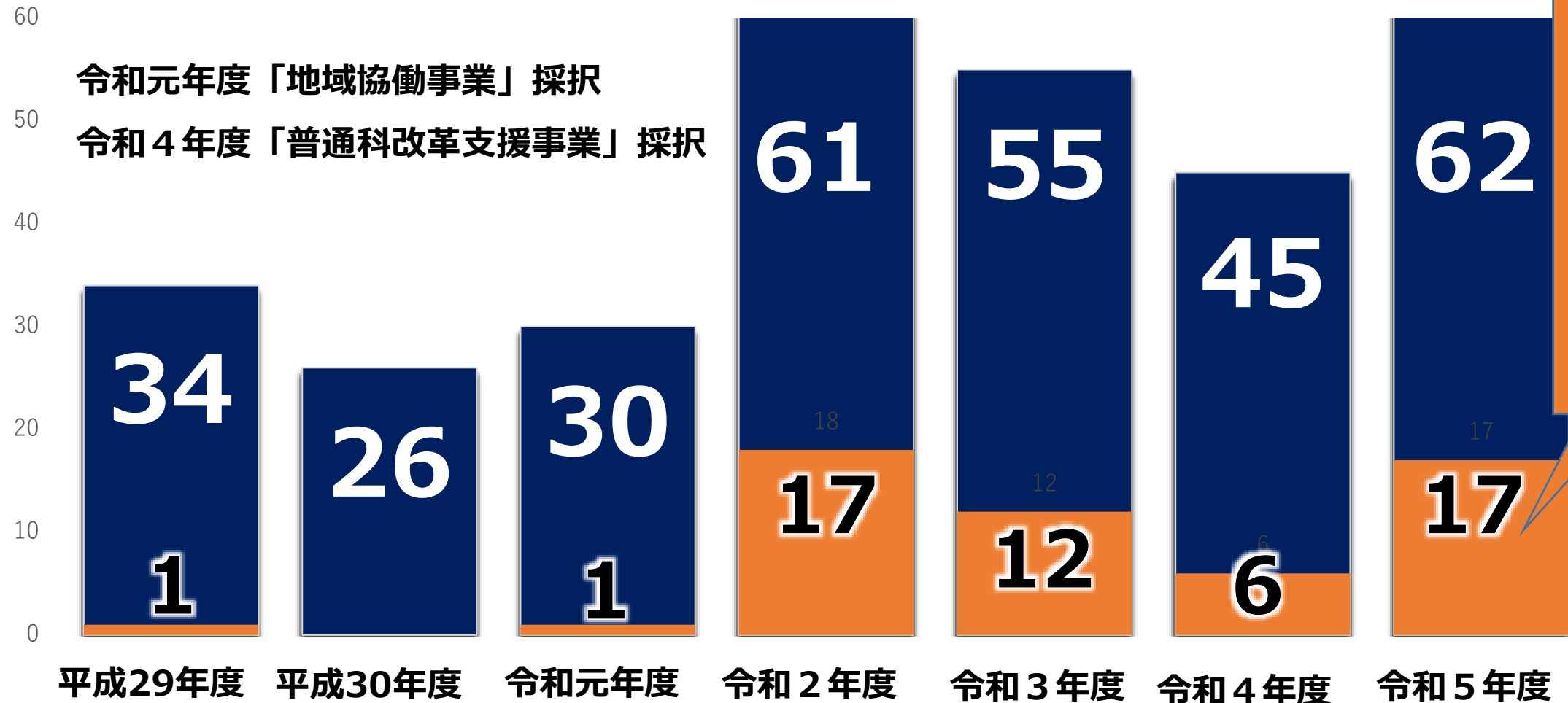
校内外のイベントで
実施



伊方町社会福祉
協議会からの支援
地元青年団と協働

成果と今後の課題

入学志願者数の推移



令和2年度入試から「地域みらい留学」参画

1 全校生徒数

R元年度

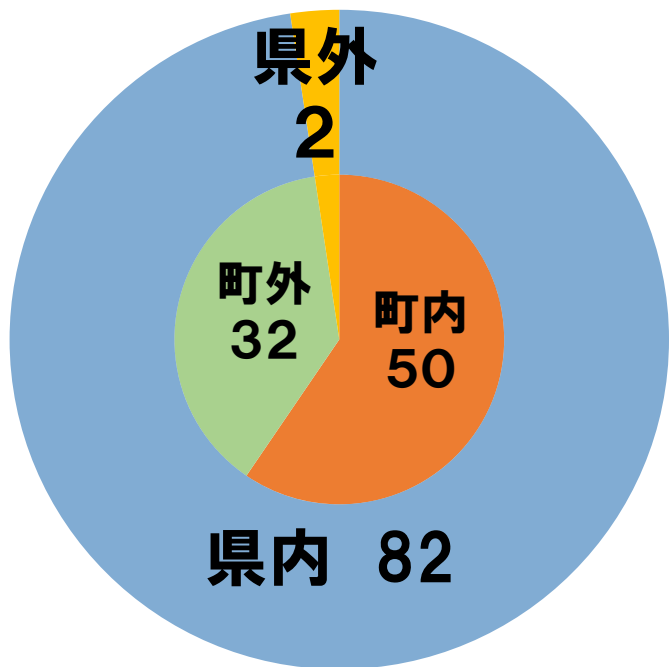
84

R5年度

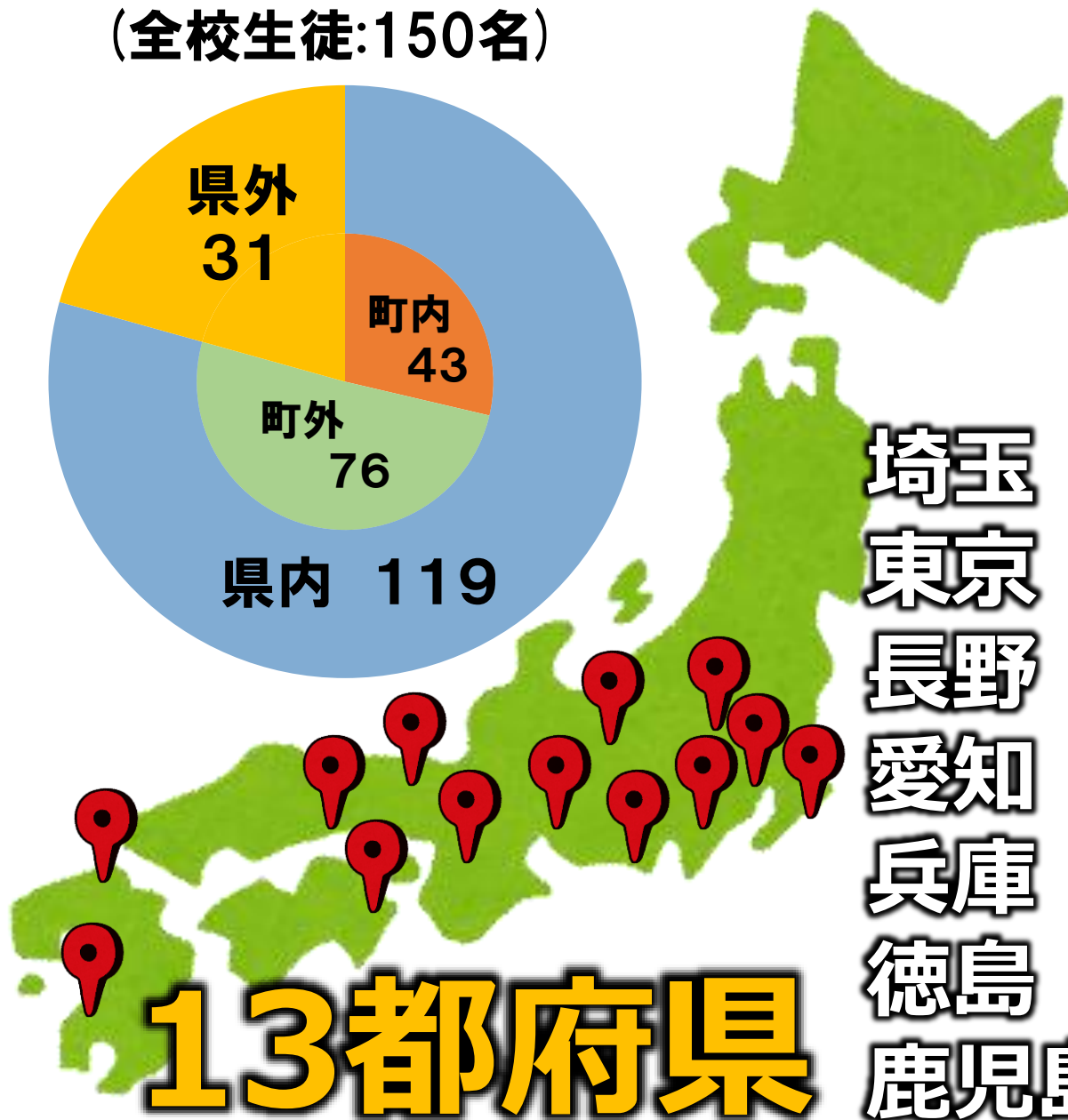
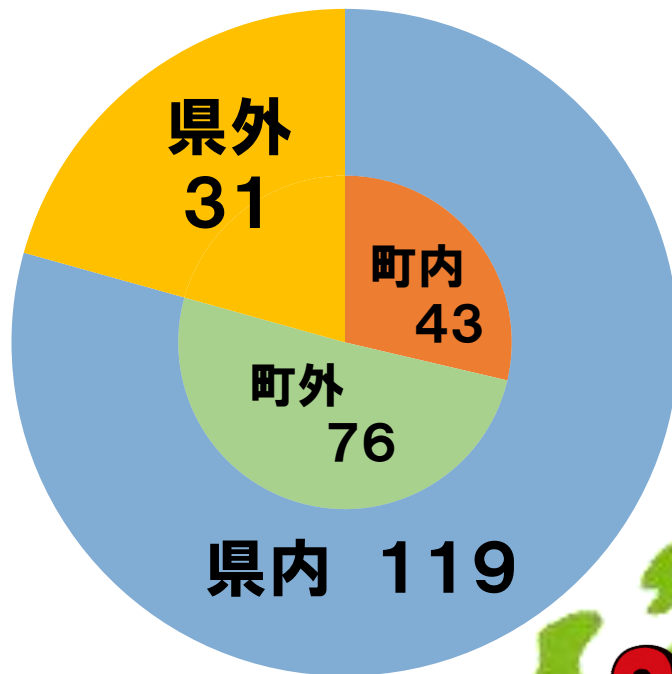
150



令和元年度
(全校生徒:84名)



令和5年度
(全校生徒:150名)



- 埼玉
- 東京
- 長野
- 愛知
- 兵庫
- 徳島
- 鹿児島
- 千葉
- 神奈川
- 静岡
- 大阪
- 岡山
- 福岡

13都府県

2 令和4年度進路実績

(進学)

令和4年度卒業生の進路状況

4年制大学	17
短期大学	5
専修・各種学校	9

- 4年制大学のうち国公立大学**6名(35%)**
- 探究活動に積極的に取り組んだ生徒が**総合型選抜、学校推薦型選抜**を活用して進路実現を達成している

2 令和4年度進路実績

(就職) 令和4年度卒業生の進路状況

県内就職	8
県外就職	2
公務員	2

- ・ **出身地(出身市町)での就職7名 (58%)**
- ・ **出身地での就職者が多い**
→ **出身地への愛着が高まっている**

3 活動を通しての成果・課題

(成果)

- ・ **生徒数の増加**
- ・ 町内・町外出身の区別なく、それぞれの生徒が**地域課題を自分ごととして、自らの研究に主体的に取り組んだ**
- ・ 積極的に外部人材と連携して活動することで、**コミュニケーション能力や企画力の伸長等が見られた**
- ・ **学校や地域に対する愛着が深まった**
- ・ **学校と地域の距離が縮まった**

(課題)

- ・ **多様な生徒に対応できる個別最適な学習活動の**
さらなる推進
- ・ **スケジュール**の管理・精選
(地域イベントと部活動の両立、イベントの重複、
教員の休日引率等)
- ・ 全国から集まった仲間たちとの**高校卒業後の連携**

(解決策)

オンラインの活用

- w e b ツールを活用したやり取り、スケジュール
- オンラインせんたん部
- オンライン同窓会

教育課程



●オンリーワンのカリキュラム開発 ●地域との連携をさらに強化

探究活動を軸にした コース選択

旧

I型 就職・専門学校
II型 理系
II型 文系



新

地域探究 (仮)
科学探究 (仮)
人文探究 (仮)

進路希望に応じた 放課後活動

週33時間 → 週29時間

学校が主体的な放課後
活動をバックアップ

- 推薦入試を希望
⇒探究活動・未咲輝ゼミ
- 一般入試を希望
⇒教員による個別指導
⇒公営塾（未咲輝塾）等

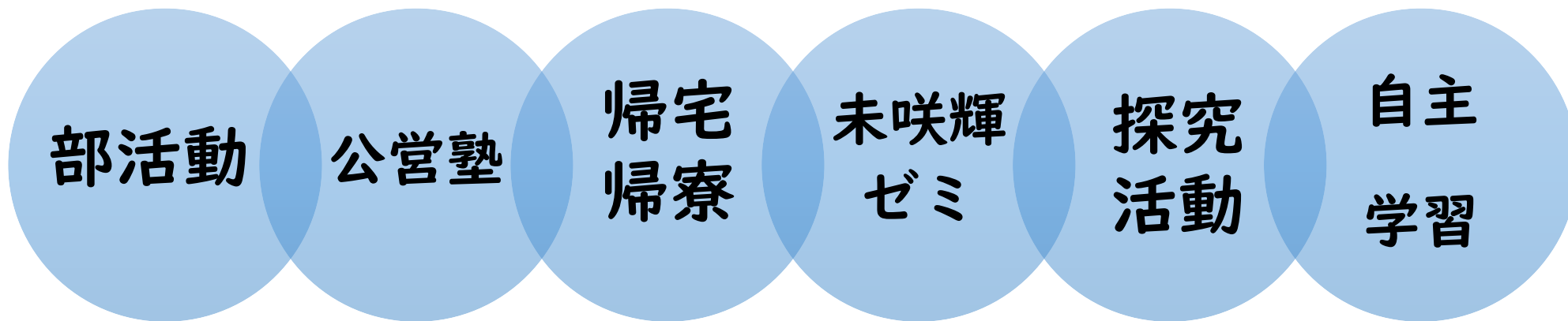
オンリーワンの 学校設定科目

<地域とつながる授業>

- 未咲輝学
→地域理解、課題発見・
解決起業家育成
- 地域文化と国語
→伝承や文学者を教材化
- トライブ・ラーニング
→地域の価値の再確認
- アプリ学 (仮)
→SNS等を活用した表現活動

放課後活動の充実

現在



※公営塾との連携強化

※ゼミ・探究活動の充実



R6～



○個別最適な学習環境 ○学びに向かう主体性

未咲輝ゼミ（放課後ゼミ）



I 目的

- (1) 放課後を有効活用し、生徒一人一人の興味・関心にあった学びを深め、生涯学び続ける姿勢を養うとともに、社会に出た時に即戦力となれるようなスキルや経験を身につけさせる。
- (2) 講師として同窓生や地域の方に入っていただき、これまで以上に地域と共にある学校を作る。

2 ゼミの概要

(1) 開講日：週1回放課後を基本とする

ア 今年度から試験的に開催し、令和6年度から本格始動

イ カリキュラムや進め方、開講頻度は講師に一任（土日等の開講も可）

ウ 講師または実施担当者を増やしたい場合は、一時的なものも含め、事前に学校と相談

(2) 開講場所：本校の教室を基本とし、必要に応じてフィールドワーク等校外での活動を行う

3 これまでの取組

(1) 佐田岬みつけ隊講座(仮)

講師：高嶋 賢二（佐田岬半島ミュージアム副館長）

黒川 信義 他、佐田岬みつけ隊メンバー

開講場所：本校地歴教室、佐田岬半島ミュージアム

伊方町内フィールドワーク



(2) Basic Medical Fitness & Personal Stretch

講師：大木 喜知（地域おこし協力隊）

開講場所：本校1年生教室、体育館

4 令和6年度以降の講師（案）

- 佐田岬みつけ隊（黒川氏他数名）
- tims：HP制作を主軸とした情報技術
- 地域おこし協力隊（大木氏）
- 専修大学（大崎ゼミ生）
- その他候補：
 - 公営塾石口先生（エネルギー）
 - 株式会社トレジャーリー（ICT）

【参考】講師データベース登録者67人（R5.7.1）

トライブ・ラーニング

今を創る、未来を変えるトライブ
～Engage the present, Shape the future.～



I 目的

(1) 地域資本を活用した学習によって、地域の価値を再認識し、地域とつながり、変化の激しい社会を生き抜くことができる人材を育成する。

※地域資本：地域経済、地域社会、地域環境

(2) 本校をトライブ・ラーニング（地域資本で学習）の拠点校とし、県内外の高校に本校取組を波及させ、伊方町をトライブ・ラーニングの聖地とする。



自分ゴトから地域ゴトへ、地域ゴトから国ゴトへ。

2 トライブ・ラーニングの概要

(I) 目標

- コミュニケーション力・協働力（多様性の容認）の向上。
- SDGs・持続可能な地域づくりの観点から課題解決方法を考える力（デザイン力）を養う。
- 自分の言葉で相手に分かりやすく伝える力（プレゼン力・表現力）を養う。（国語力・英語力の向上）

2 トライブ・ラーニングの概要

(2) これまでとの違い

《これまでの地域探究活動》

伊方町や地元企業を連携し、地域探究活動を行い、地域課題を発見し、解決に向けて行動する。



《トライブ・ラーニングでの地域探究活動》

地域課題の発見・解決にとどまらず、国内外への情報発信に重点を置く。これまで以上に多くの人々に情報発信することで、移住促進や関係人口増加など、地域の活性化を目指す。

➤ 自分のための活動から、地域のための活動へ！

2 トライブ・ラーニングの概要

(3) 内容

- ①地域探究活動（伊方町の魅力調査）や社会で活用できる技術・能力・知識を各教科から学ぶ。
- ②地域理解を深め、地域課題を発見する。
- ③せんたんシンポジウム（仮称）を開催し、地域・企業・大学・他校と交流し、学びを深める。
- ④地域課題についての考察するとともに、論文やプレゼン資料を英語でも作成し、国内外に発信する。

3 令和5年度の取組

『今を創る、未来を変えるトライブ』キックオフ

- ア 開催日時：令和5年12月18日(月)・19日(火)
- イ 協議テーマ：『What is 地域 / Why is 地域』
- ウ メンター
 - 大崎恒次 (専修大学 商学部 准教授)
 - 笠松浩樹 (愛媛大学 社会共創学部 准教授)
 - 島上宗子 (愛媛大学 社会共創学部 教授)
 - 他 One Young World JAPAN大久保氏から推薦
- エ 参加校 (6校を予定)

その他

- 1 イベントスケジュール・ワークショップ
- 2 Jobフェア in みさこう（地元企業の就職率アップ）
- 3 佐田岬観光公社との商品開発



その他

Ⅰ イベントスケジュール・ワークショップ

(1) 目的：効率的・効果的な地域連携実施のため
スケジュール調整やイベントのブラッシュアップ

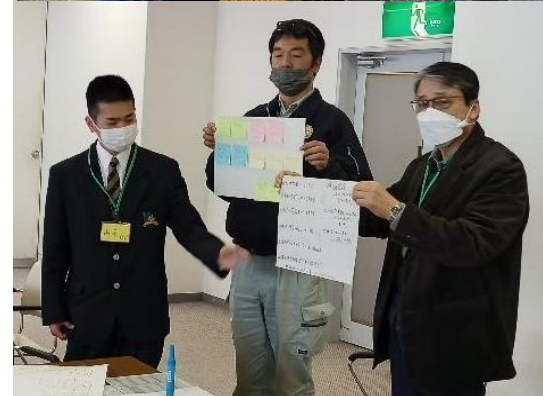
➡業務のスリム化

(2) 日程：令和5年2月23日（木）13時～16時

(3) 会場：瀬戸町民センター

(4) 参加者：本校教職員4名（管理職・担当）

生徒5名、地元企業等11名



その他

1 イベントスケジュール・ワークショップ

(5) 成果

○2月23日時点で予定されているイベントを本校行事予定に加筆できたことで、効率的な連携が図られている。

(例) 5/5：二名津こいのぼり祭り

5/27：はなはな祭り

5/28：きらら祭り 等

○生徒から「イベントへの参加を求めるのであれば、交通面や食事面に配慮してほしい」という意見が出された。

⇒こいのぼり祭りや佐田岬観光公社主催ボランティアにおいて、送迎や昼食の提供

その他

2 Jobフェア in みさこう（地元企業の就職率アップ）

(1) 日程：令和5年9月8日(金)

(2) 会場：本校2年生教室および体育館

(3) 参加者（予定）

本校2年生

大学2年生（本校卒業生または伊方町に興味のある学生）

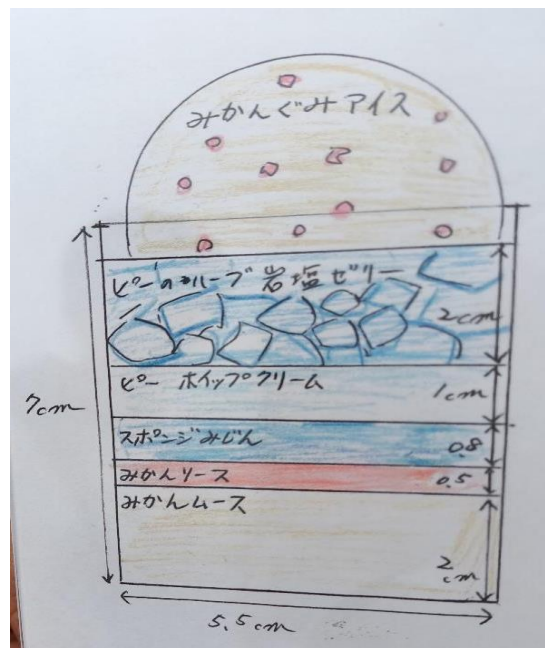
伊方町周辺の地域を拠点とする企業（10企業程度）

その他

3 佐田岬観光公社との商品開発

31Milesパフェ (有志8名)

- 令和4年12月15日：マーケティング講義、パフェの考案
- 令和5年2月1日、3月13日：企画、試食、命名
- 令和5年4月30日：海と風のマルシェにて販売



みんなが さいごうに きらきら輝ける学校

わんわん
わんわん
わんわん
わんわん

愛媛県立
三崎高等学校

